

事務事業マネジメントシート (20年度実績と21年度計画)

21年度予算編成後平成 21 年 3 月 22 日 作成
20年度決算把握後平成 21 年 6 月 22 日 作成

事務事業名	小中学校教育振興用資器材購入事業			<input type="checkbox"/> マニフェスト 関連	<input checked="" type="checkbox"/> 全庁横断 課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革 プラン関連	
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり	所属部	教育委員会事務局教育部	課長名	中島正剛
	施策	19	義務教育の充実	所属課	学校教育課	担当者名	谷 和浩
	基本事業	61	学力の向上	所属班	学務指導班	(内線)	2233
				法令根拠	なし		

予算科目	会計	款	項	目	事業連番	<input type="checkbox"/> 20年度で終了	<input type="checkbox"/> 21年度から開始	成果優先度評価結果	7
	01	10	01	03				コスト削減優先度評価結果	6

事業期間 単年度のみ 単年度繰返(開始年度 不明 年度) 期間限定複数年度 (~ 年度)

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】
教育振興のための実習、実験用の消耗品及び資器材を整備し、教育環境の整備を図る。

【業務の流れ】
消耗品購入事務、備品購入契約事務、支払い事務

【主な予算費目】
需用費、備品購入費

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	
① 手段(主な活動) 20年度実績(20年度に行った主な活動)(DO) 教育振興のための実習、実験用の消耗品及び資器材を整備し、教育環境の整備を図った。	21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) H20年度に同じ
② 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 小中学校児童生徒	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位) ア 小学校教育振興用資器材購入金額 円 イ 中学校教育振興用資器材購入金額 円
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 児童生徒に対する教育環境を整備する	⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位) ア 小学校児童数 人 イ 中学校生徒数 人
④ 上位の目的(さらにどんな目的に結び付けるのか) 学力が身につけている	⑦成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位) ア 学力意欲が出てきたと思う児童の割合 % イ 学力意欲が出てきたと思う生徒の割合 %
	⑧上位成果指標(上位目的の達成度を表す指標)=④の指標 (単位) ア 標準学力検査において全国標準値を50とした場合の各学校の総合学力の平均値 % イ

(2) 総事業費・指標等の推移

投入量	事業内訳	単位	18年度	19年度	20年度	20年度	21年度	22年度	23年度	全体計画
			実績(決算)	実績(決算)	目標(当初予算)	実績(決算)	目標(当初予算)	(目標)	(予定)	
事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0	総 ト ー タ ル コ ス ト (期間 限 定 複 数 年 度 の み 記 載) 0
	都道府県支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0	
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0	
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	
	繰入金	千円	0	0	0	0	0	0	0	
	一般財源	千円	16,054	18,681	17,976	17,018	19,062	19,062	19,062	
	(A) 事業費計	千円	16,054	18,681	17,976	17,018	19,062	19,062	19,062	
	うち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	
	うち時間外、特殊勤務手当	千円	0	0	0	0	0	0	0	
	正規職員従事人数	人	3	3	3	3	2	2	2	
延べ業務時間	時間	44	44	44	44	44	44	44		
(B)人件費計	千円	175	175	175	175	175	175	175	0	
トータルコスト(A)+(B)	千円	16,229	18,856	18,151	17,193	19,237	19,237	19,237	0	

指標	単位	18年度	19年度	20年度	20年度	21年度	22年度	23年度	目 標 合 計 値 画 22 年 度
		実績	実績	目標	実績	目標	(目標)	(予定)	
活動指標	円	9280	10265	9918	9067	10728	10728	10728	総 合 計 値 画
	円	6774	8416	8233	7950	8334	8334	8334	
対象指標	人	3357	3391	3474	3500	3582	3587	3587	目 標 合 計 値 画
	人	1718	1710	1688	1669	1680	1683	1683	
成果指標	%	100	100	100	100	100	100	100	目 標 合 計 値 画
	%	100	100	100	100	100	100	100	
上位成果指標	%	52.1	52.6	53	53.1	53.5	54	54	22 年 度

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?
教材備品及び消耗品等の充実を図り、教育環境を充実させるため

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
変化なし

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
なし

事務事業名	小中学校教育振興用資器材購入事業	所属部	教育委員会事務局 教育部	所属課	学校教育課
-------	------------------	-----	-----------------	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は20年度の事後評価、ただし複数年度事業は20年度における途中評価

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】⇒ 学校教育を充実させるためには、教材備品、消耗品の整備は不可欠であるため、妥当である。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】⇒ 義務教育であり、学校設置者の市が行うのは当然である。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】⇒ 義務教育に関する事業であり、対象・意図は妥当である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】⇒ 教育充実のための事業であり、今でも充分成果は上がっており成果の向上余地はない。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】⇒ 21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】⇒ 教育に必要な備品、消耗品が不足し、十分な教育ができなくなりその影響は非常に大きい。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ⇒ (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】⇒ 類似事業はない。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】⇒
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 学校毎の購入計画ではなく、全体計画により、教材備品・消耗品の計画的な購入や、適正な管理を徹底すれば事業費を削減できる。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 今でも必要最低限の業務時間である。委託するような事務遠ではない。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】⇒ 各学校規模に応じ予算を配分している。 受益者負担は取っていない。

3 評価結果の総括(SEE)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
<p>① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり</p> <p>② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり</p> <p>③ 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり</p> <p>④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり</p>	<p>⇒ ③効率性については、学校毎の購入計画ではなく、全体計画により、教材備品・消耗品の計画的な購入や、適正な管理を徹底すれば事業費を削減できる。</p>

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(2) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																	
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) 学校毎の購入計画ではなく、全体計画により、教材備品・消耗品の計画的な購入や、適正な管理を徹底すれば事業費を削減できる。	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持 低下</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持 低下	○		
				コスト														
		削減	維持	増加														
成果	向上																	
	維持 低下	○																

(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

学校毎に管理しているのを、一括管理すれば無駄がなくなる可能性が高い。一括管理のためには、事務局職員の増員が必要である。

5 事務事業貢献度評価結果(施策の統括課長の総括)

(1) 目的の直結度	1	(直結度高い 1~3 直結度中 4~6 直結度低い 7~9)
(2) 貢献度	2	(貢献度高い 1~3 貢献度中 4~9 貢献度低い 10~12)